

求められるのは

憲法

九条いかにした国際貢献

政府と自民・公明両党は、インド洋でのアメリカ艦船等への無料の給油を続けるとする新テロ特措法延長法案を、衆議院の再議決をつかっても成立させようとしています。アメリカが「テロとのたたかい」と

して始めたアフガニスタンやイラクへの戦争は、多くの民間人を殺傷し、憎しみを増幅させ今や泥沼状態です。テロは逆に世界に拡大、件数も大幅に増大しています。「戦争でテロはな

くならない」ことは今や明らかです。

戦争でテロは なくなならない



ノーベル平和賞受賞者
ワンガリ・マータイさん

9条世界会議のHPより

逆行する日本**政府**の対応

世界もア然! 田母神(前幕僚長)論文

田母神航空幕僚長(当時)が旧日本軍の侵略戦争を美化した論文とともに、自衛隊幹部を対象に同様の教育が行われていたことが明らかになり大問題となっています。田母神氏は、イラク等へ自衛隊が派兵されるもとの、自衛隊の士気を高めるためと語っており、海外派兵型の自衛隊への変貌とのかかわりでも重大です。

アフガニスタンでは、政府と武装勢力であるタリバンとの間で和平に向けた交渉が開始されました。軍隊を派遣しているヨーロッパ各国の高官も和平交渉の必要性に言及するもとの、日本の対応はアメリカ追随・軍事優先で、アフガン本土へのヘリ部隊の派遣すら検討されており、和平の流れに逆行するものとなっています。
一九七九年のソ連侵攻以来戦争が続き、アフガン民衆は疲弊しきっています。戦争放棄の憲法九条をもつ国として、イラクに続きインド洋からも自衛隊を撤退させるとともに、アフガン政府とタリバン、欧米との和平交渉の積極的仲介こそ行わなければならないでしょう。